

以上の措置は困難である。

住居手当の見直し、基礎控除額を上げる必要は無い！

【組合】 前回の交渉において局長からは国と県の違いを認識された発言をされていたが、今回、基礎控除額（下限）の引き上げに言及された。職員住宅の使用料の上昇等を理由にされるが、引上げから相当な年数が経過しておりこのことを今更持ち出すのはおかしいのではないかと。

【局長】 過去の改定から年数が経過しており、その間の事情の変化ということであり、民間の支給状況等も含めて見直しを検討している。

高速道路等手当の要件緩和、子育て支援からも必要

【組合】 通勤手当の高速道路や新幹線利用の加算については、「異動に伴う」という要件が必要となっているが、これでは、止む

を得ない事情により転居した場合は該当せず不合理・不平等ではないか。介護を理由とする場合は認められたが、更に踏み込んで、子育て支援含めて認めていく必要があるのではないかと。

【局長】 子育て支援は重要と認識しているが、通勤手当では、一定の限界があるのではないかと。

時間外上限規制、人員配置など更なる要請が必要

【組合】 時間外勤務の上限規制が導入されたが、現場の働き方改革での効果よりは、むしろ働きにくくなったとの声が多い。人事委員会として、今回も職員のアンケート調査を行っているが、実態を踏まえて、人員増に踏み込んだ更なる要請を行ってほしい。

【局長】 時間外勤務命令の上限規制が導入された中で、職員アンケートの結果を分析し、長期にわたって職員の健康にプラスとなるのか、必要な要請を検討したい。

結成30年を前に組織と運動の一層の強化を確認

自治労県職・県職連合の定期大会を開催



去る9月4日、自治労県職第34回定期大会・自治労県職連合第9回定期大会を守山市内にて開催。西岡執行委員長は冒頭挨拶で「来年で結成30年を迎えるが、結成の原点を振り返りつつ、更なる飛躍を目指して運動と組織の強化を」と訴えました。来賓として、チームしが県議団の中沢代表、自治労県本部仁尾委員長、滋賀県教組の内海委員長から激励の挨拶を受けました。執行部から昨年度の経過報告・決算報告、今年度の運動方針・予算案等の提案。代議員からは「働き方改革が内実を伴っていない」「育児と仕事の両立で、人員配置を含む職場の支援体制が不十分である」「現業職場での人員課題は深刻。採用が不可欠」「新採対策の取組で共通認識が必要だ」「会計年度任用職員制度の取組成果と今後の取組」など代議員から積極的な発言や問題提起がありました。

執行部からは、これらの発言を踏まえて、賃金闘争や職場要求運動、人員人事闘争の取組を強化する旨の答弁があり、予算案や選挙管理委員の選任を含む全議案が採択されました。

自治労・都道府県職労組総会開催



自治労加盟の都道府県庁の職員労働組合で構成する「自治労県職共闘会議」主催の「2019年度総会」

がこのほど自治労会館で開催。向こう2年間の運動方針や役員改選の提案があり、会計年度任用職員制度を含む全国的な運動課題を始め、組織拡大などで意見交換しながら、全議案を採択しました。総会後は、「人事院勧告と確定闘争」のテーマで本部から報告をうけ、さらに翌日は分散会に分かれて情報交換しました。なお、総会には先の参議院選挙で自治労組織内候補として立候補し、見事当選した「岸まきこ」さんもあいさつで登壇し、お礼と決意表明がありました。

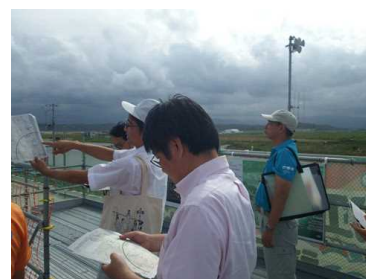


福島復興視察ツアー参加者募集

10月25日（金）～26日（土）

福島県内の復興事業、除染事業等の視察

- 【行き先】 福島県相双地域
- 【宿泊】 組合手配のホテル/個室
- 【募集人員】 若干名
- 【費用】 往復旅費、宿泊費は組合負担
- 【申込期限】 10月11日（金）
- 【申込先】 組合書記局



「福島の今に関する学習会」

～除染や避難状況の最新状況を学び、
福島復興の今後の課題を考える～

- 【日時】 10/17（木）18：30～20：00
- 【場所】 県庁北新館多目的室
- 【参加】 どなたでも。上記ツアー参加者は必須 無料